



島田 三恵子 (Mieko SHIMADA)

助産学専攻科、大学院看護学研究科

特任教授

博士（保健学）

shimadam@dokkyomed.ac.jp

学 歴

東京大学大学院医学系研究科 博士課程修了

担 当 科 目

助産学専攻科

助産学概論，助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期），助産診断・技術学Ⅱ（分娩期），助産診断・技術学Ⅲ（産褥期・新生児期），助産診断・技術学Ⅳ（ハイリスク），助産診断・技術学演習，助産管理学，助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，助産学研究，Evidence-Based Practice

大学院看護学研究科

看護研究Ⅰ（概論）

研究テーマ

妊産褥婦および新生児乳児の睡眠等生体リズムに関する研究

育児支援および母子保健に関する調査研究

助産ケアに関する臨床研究

所 属 学 会

日本助産学会，日本小児保健学会，母性衛生学会，日本看護科学学会，睡眠学会

学生へのメッセージ

社会活動と研究

1. JICA 国別・地域別研修 講師(2005 年度～2017 年度)
 - 1) 2005 年度～2010 年度 アフリカ母子保健看護管理コース：安全な出産のための助産師研修
 - 2) 2013 年度～2017 年度 モンゴル母子保健看護管理コース
2. 2015 年度～2017 年度 公益法人 全国助産師教育協議会「助産師教育ファーストステージ研修」講師
3. 2015 年度 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
4. 日本医療機能評価機構（Minds モバイル）公開：「母親が望む安全で満足な妊娠出産に関する全国調査－科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産ケアのためのガイドライン 2013 年改訂－」平成 23-24 年度厚生科学研究（分担研究者 島田三恵子）成果の発表、（2013 年改訂ガイドラインのモバイル公開）、平成 28 年 2 月 1 日～現在まで
5. 日本医療機能評価機構（Minds）ホームページ掲載：科学的根拠に基づく「快適で安全な妊娠出産ケアのためのガイドライン 2013 年改訂版」平成 23-24 年度厚生科学研究（分担研究者 島

田三恵子) 成果の発表、平成 18 年度に開発したガイドラインの改訂版の一般公開)、平成 26 年 9 月 18 日～現在まで

6. 毎日新聞、平成 26 年 11 月 25 日朝刊の第 10 面、報道タイトル：専門的支援の保障を－産後ケアのあり方を考える（23 年度厚生科学研究データの発表）
7. 毎日新聞、平成 26 年 10 月 16 日朝刊の第 16 面、報道タイトル：経営の難しさ普及の壁に－産後ケアのいま（平成 11 年度、17 年度、23 年度厚生科学研究データの発表）
8. 平成 28～32 年度科学研究費補助金（基盤研究(B)）課題番号 16H05585 「母乳育児が産後うつ症状と Bonding に及ぼす影響」研究代表者

原著論文

1. Mako HAYASE, Mieko SHIMADA: Effects of maternity yoga on the autonomic nervous system during pregnancy. The Journal of Obstetrics & Gynecology Research 44(10):1887-1895, 2018. DOI: 10.1111/jog.13729(online published 2018 Jun 09)
2. Mieko SHIMADA, Hiroyuki SEKI, Michikazu SAMEJIMA, Mako HAYASE, Humie SHIRAI: Salivary melatonin levels and sleep-wake rhythms in pregnant women with hypertensive disorder and glucose metabolic disorder. BioScience Trend 10(1):34-41,2016. DOI: 10.5582/bst.2015.01123 (online advance publication 2016 Feb 03)
3. Hatsumi TANIGUCHI, Mieko SHIMADA, Meredith McIntyre: Japanese men's success in altered fatherhood role in a foreign country. Journal of Transcultural Nursing, 26(1):39-46, 2015. DOI:10.1177/1043659614524231(online published 2014 Mar 28)
4. Mako HAYASE, Mieko SHIMADA, Hiroyuki SEKI: Sleep Quality and Stress in Women with Pregnancy-Induced Hypertension and Gestational Diabetes Mellitus. Women & Birth, 27:190-195, 2014. DOI:10.1016/J.wombi.2014.04.002 (online published 2014 Apr)
5. Haruko SHINKAWA, Mieko SHIMADA, Kazue HIROKANE, Mako HAYASE, Tsubura INUI: The development of a scale for pregnancy-related discomforts. The Journal of Obstetrics & Gynecology Research. 38(1):316-323, 2012. DOI:10.1111/j.1447-0756.2011.01676.x (online published 2011 Oct)
6. 三田村実祐、白石三恵、安井まどか、岩本麻希、島田三恵子：日本人女性の産褥風疹ワクチン接種状況と接種に関わる要因についての文献レビュー.保健医療学. 14:58-65, 2017
7. 小川千晶、白石三恵、安井まどか、岩本麻希、島田三恵子：産褥期における精油を付加した足浴の効果に関するシステマティックレビュー.看護科学研究. 14:58-65, 2016
8. 岩本麻希、島田三恵子、高橋藤子、白石三恵、安井まどか、寺田志野：母乳外来での継続指導による初産婦の母乳育児率と母乳量の変化. ペリネイタルケア 35(10):105-109, 2016
9. 盛山幸子、島田三恵子：夫の「妊娠の計画性と妊娠に対する心理及び夫婦関係」と「対児感情」との関連. 母性衛生 56(2)：415-422, 2015
10. 乾つばら、島田三恵子、林猪都子、猪俣理恵：分娩の主観的評価に影響を与える要因－医療処置と入院中のケア－. 母性衛生 56(2)：399-406, 2015.
11. 乾つばら、島田三恵子、林猪都子、猪俣理恵、坂口隆之：分娩施設の選択理由と転院理由に関する調査研究.周産期医学 45(2): 237-241, 2015

総説

1. 島田三恵子：周産期におけるファミリーセンタードケア 5. 出産教育（ア）母親学級、両親学級、周産期医学, 47(1)：35-38, 2017. 1月
2. 島田三恵子：科学的根拠に基づく「快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン」ペリネイタルケア, 35(11)：34-37, 2016.11月
3. 新川治子、島田三恵子：ローリスク妊婦から要支援者を検索するための「マイナートラブル・スケール（SPRD）」. 周産期医学, 44（5）：713-717, 2014

著書

1. 島田三恵子,白石三恵：快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン. 福井トシ子編：臨床助産テキスト第4巻重要な周辺知識, p.188-194、メディカ出版,2016年9月
2. 島田三恵子,杉本充弘,藤井知行,関和男,安達久美子,前田津紀夫,松山裕,上村由香里,岡本喜代子,山本詩子,井本寛子,諏訪敏行,富田直子,袖岡仁美：科学的根拠に基づいた快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 版, 金原出版,2013年8月
3. 島田三恵子：妊婦の睡眠と新生児の睡眠. 五十嵐隆 総編集：小児科臨床ピクシス,（神山潤 専門編集）第13巻 小児の睡眠障害、中山書店 東京、2010年2月、第5章 134-137頁

報告

1. 助産師教育機関紹介シリーズ 獨協医科大学助産学専攻科. 公益法人日本助産師会機関誌 助産師 72(4):34-36, 2018
2. わたしたちの教育現場 獨協医科大学助産学専攻科. 助産雑誌 73(3):230-236, 2019